

ポイ捨て、不法投棄に100万円も

この経費は本来使わなくてもいいもの…

美しい自然緑に囲まれた甲賀市、しかしその美しさを損ない、環境をも破壊してしまうポイ捨て、不法投棄は後を絶ちません。山林や道路や公園などに空き缶や弁当の残りが、ペットボトルが無残にも散乱している箇所が多くあります、さらには日用品、粗大ごみまでもが無秩序に捨てられています。



そのとき、そのとき、残ったもの……

ゴールデンウィークも終わりました。いかがお過ごしでしたか。いい天気に恵まれ、行楽地に出かけリフレッシュされた方も多かったのではないかと思います。

ところが行楽地自体はかなりお疲れのようです。賑わいの後の行楽地はごことなく寂しいものですが、そこに点在するいくつかがごみがその思いを一層強くさせます。

甲賀市のごみ事情

「ごみは自然になくなるものではありません。」
このごみは誰が片付けるのでしょうか、道路や公園などの公共施設に捨てられたごみはやむなく県や市が処分することになります。そこには当然費用がかかってきます。また不法投棄対策や啓発にも費用がかかります。市では不法投棄の対策、処理、美化推進にかかる経費として平成19年度予算では約1,100万円を計上しています。
この財源は私たちの貴重な税金なのです。そしてこの経費は一人ひとりがマナーやルールを守っていただければ使わなくて済むお金なのです。



ごみゼロ大作戦にご参加ください

依然としてなくなりやすい散在性ごみですが、私たちの庭はやっぱりきれいでありたいものです。美しい町づくりをめざし、「ごみゼロの日」(5月30日)の前後に市民皆さんでごみを拾い、ポイ捨てについて考える「ごみゼロ大作戦」を実施します。

活動内容

道路端のポイ捨てごみの回収などを行っていただきます。
当日は、作業のできる服装(手袋、火ばさみも携帯してください。)*でご参加ください。なお、参加者が万が一が等負われた場合は、市が加入するボランティア保険により対応させていただきます。

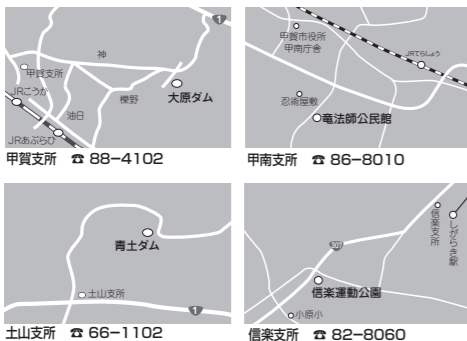
実施日時および集合場所

5月27日(日) 8:00~10:00

*午前7時に実施の有無を決定します。荒天等により不明瞭な場合は下記におたずねください。

- 土山地域：青土ダム、河川敷地
- リップルチャチャバス停
- 甲賀地域：大原ダムキャンプ場
- 甲南地域：竜法師公民館
- 信楽地域：信楽運動公園

ごみゼロ大作戦 集合場所



福井隆男さんに聞く

青土ダムエコトレイル

実際どのような問題がおこっているのでしょうか、「青土ダムエコトレイル」を初めとする公園施設や緑地を管理されておられる福井隆男さんにお話を聞きました。

行楽地が多いごみは、やはり弁当の残りや空き缶などで、休日明けに周辺を清掃するとひどいときには軽トラ1杯になることもあります。

また、紙おむつや、不要になった日用品などが捨てられているときもあります。ごみが捨てられている場所を見て感じるの、ごみのごみを呼ぶ



不法投棄は れっきとした犯罪



地域の方の清掃活動やボランティアなどで多量のごみが集まりますがこれだけで多くのごみをなくすことは不可能です。

不法投棄をする人は自分のことしか考えない身勝手な人です。ルールを守らない身勝手な人のために貴重な税金が使われる、許されるものではありません。

5月30日はごみゼロの日です。この機会に今一度散在性ごみの問題を考えたいものだと思います。

問い合わせ 生活環境課

TEL 65-0690
FAX 63-4582